

平成 23 年度事業報告書

特定非営利活動法人湘南港マリンセンター

1 活動方針

地域に密着したマリンスポーツ文化の育成を目標に、セーリングスポーツの普及活動を行う。

- 1) 生涯スポーツとしてのセーリングスポーツの普及：成人対象
- 2) 水を楽しむスポーツとしてのセーリングスポーツの普及：ジュニア対象
- 3) 地域に適したマリンスポーツの調査とマリン文化の普及活動
- 4) マリンスポーツと関連する地域環境の調査研究

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

(1) 海洋スポーツ並びに海洋文化の普及活動事業

① 藤沢市中学・高校生体験セーリング事業

- 内容 藤沢市青少年協会よりの委託事業
- 日時 8月20日(土) (1日間)
- 場所 江ノ島ヨットハーバー
- 従事者人員 12人 (SSC 会員及び県ユースヨットクラブ会員を含む)
- 対象者 藤沢市内中学生・高校生 (20名)

② 藤沢市青少年セーリングクラブの運営

- 内容 青少年へのセーリング指導
- 日時 通年 (初心者対象：第2、第4土曜日、経験者：毎日曜日)
- 場所 江ノ島ヨットハーバー
- 従事者人員 2人
- 対象者 小中高年生 12人

③ 藤沢市民セーリングクラブの運営

- 内容 初心者へのセーリング指導
- 日時 通年 活動時間 30日～40日/年
- 場所 江ノ島ヨットハーバー
- 従事者人員 2人
- 対象者 一般成人の初心者 18人

④ 安全講習会(シーマンシップ研修)

- 内容 海の安全教育、海の気象
- 日時 5月1日 6月12日
- 場所 江ノ島ヨットハーバー
- 従事者人員 2人
- 対象者 SMC 会員 25人

⑤ 江ノ島親子体験ヨット教室事業

藤沢市青少年セーリングクラブが中心となり 8月13日に実施。
参加：18組

- ⑦ 冬季クルーザー体験教室の開催事業
- 内容 クルーザー体験教室
 - 日時 23年1月22日、2月11日、12日、3月4日、11日 5回実施を予定したが、オリンピック代表選考レース運営支援の為2月11日、12日は中止として3回実施。
 - 場所 江ノ島ヨットハーバー
 - 従事者人員 3人
 - 対象者 地域の希望者 募集人員20人(5人/回) 参加総数16人
- ⑧ 初心者向け指導書製作事業(海のボランティア応募者向け)
- 内容 ヨットレース運営支援者向けマニュアルの作成
 - 日時 11~2月
 - 場所 江ノ島ヨットハーバー
 - 従事者人員 2人
 - 対象者 海のボランティア応募者 30人
 - (1)レース運営者の為のレースのルール、(2)レース運営方法 2種の編集完了
- ⑨ 海のボランティア「マリンフェロウズ」育成事業
- 22年度から開始した海のボランティア「マリンフェロウズ」の組織化とその運営の支援を実施。海上におけるレース運営支援、マリンスポーツ支援に実施と、其の為の教育・訓練を実行した。
 - 22年度は7月から9月の夏季に江の島マリンパトロール(海上)を週1回実施して、パトロールに関する研究・調査を行った。
 - 日時 4月~3月
 - 場所 江の島ヨットハーバー (女性センター事務所を利用)
 - 従事人数 3名
 - 対象者 SMCの会員のなかの「マリンフェロウズ」参加者
- (2) セーリングレガッタの開催並びにセーリングレガッタに関する事業
- ① ヨットレース運営支援メンバー指導員講習会の実施
- 内容 海のボランティア参加メンバーへのレース運営一般の講習
 - 日時 2月18日、2月26日
 - 場所 江ノ島ヨットハーバー、神奈川女性センター
 - 従事者人員 2人
 - 対象者 海のボランティア(レース役員)(17名)
- ② 江ノ島トレーニングレース実施事業
- 内容 初心者を含めた江ノ島近郊のセーラーへレース練習の場を提供する。神奈川県セーリング連盟、藤沢市ヨット協会で開催する海上運営を担当。
 - 日時 通年(16回実施予定で、荒天で4回が中止となり、実質12回の実施)
 - 場所 江ノ島ヨットハーバー
 - 従事者人員 5人
 - 対象者 江ノ島近郊のセーラー 参加延べ人数 120人

- ③ 藤沢市オープンヨットレースの開催
- 内容 一般セーラーを対象とした普及目的のオープンヨットレース
 - 日時 8月6日
 - 場所 江ノ島ヨットハーバー
 - 従事者人数 30人
 - 対象者 地域の一般セーラー
- ④ レガッタ運営に必要な機材の貸し出し
- 内容 レガッタを実施するのに必要な機材（艇を含む）を貸し出す
 - 日時 随時
 - 場所 江ノ島ヨットハーバー
 - 従事者人員 2人
 - 対象者 レガッタを運営する団体及び個人
- (3) 海洋情報の提供並びにセミナー・講習会の開催および関連書籍の出版事業
- ① ホームページの維持・管理
- 内容 湘南地域のマリン情報、水環境、水域利用等の情報提供。
 - 江ノ島・葉山間のヨットレース海域の定置網やその他障害物情報を毎年調査して、レース海面図を改定している。この、レース海面図に基づき、この海域で年間200以上行われるヨットレースは運営される。
相模湾レース海面図の作成（定置網位置、障害物、レース海面表示）を作成しHPで一般公開 <http://www.npo-smc.org/kaimen06.htm>
 - 日時 通年
 - 従事者人数 3人
 - 対象者 地域住民を含めたセーラー他
- ② 講習会の実施（講師の招聘）
- 内容 江ノ島ヨットハーバークラブハウス更新に関する勉強会（津波対策）
 - 日時 5月28日、9月4日、12月11日、2月19日
 - 場所 神奈川女性センターマリンスポーツ協議会事務所
 - 従事者人数 1人
 - 対象者 ハーバー利用の各団体、クラブ、艇種協会
- (4) 親水性の向上と沿岸地域の活性化に寄与するまちづくり事業
- ① 海岸・水域利用とゾーニング等の調査・研究事業
- 内容 江ノ島の島内におけるマリンスポーツ活性化。江ノ島女性センターのマリンスポーツ団体利用の検討と組織の作成
 - 日時 4月29日、5月16日、9月4日
 - 場所 神奈川女性センターマリンスポーツ協議会事務所
 - 従事者人員 2人
 - 対象者 江ノ島・葉山間の海域を利用する団体

② 「海の日記念」フェスタ 2009 の実施事業（運営支援）

- 内容 海の日記念行事、体験教室、アトラクション
- 日時 7月18日(祝日：海の日)
- 場所 江ノ島近郊
- 従事者人数 15人
- 対象者 地域住民を含めた地元セーラー

(5) 上記の活動を行う団体の運営の支援、人材派遣事業

① 海洋スポーツ、海洋文化を通じて湘南港ネットワークづくりをすすめる。

- 内容 海洋文化事業の相談窓口を設置する。湘南港及びホームページを通じて、広く関係者のネットワークの作成、意見の収集及び江ノ島、鵠沼地域で活動する団体への支援者の募集や派遣を行なう。

- ◆ 逗子―藤沢間のオープンウォータースイミング（マリンスポーツ行事）に会員と運営ボートを派遣し、他のマリンスポーツ団体と共同で、海上運営を支援し、マリンスポーツ団体間の親睦を含めた。

日時 8月27日

場所 葉山、江ノ島海域

従事者人員 2人

対象者 湘南オープンウォーター実行委員会

- ◆ 2010年ジュニアユースセーリング選手権の支援

12月17日、18日

運営役員、運営艇の派遣

- ◆ Y15級全日本選手権

10月29日、30日

運営役員、運営艇、レース運営機材

② 地域と連携して、まちづくり活動、環境改善活動に参加

- 江ノ島まちづくり会議へ参加(年間)
- 島民、漁民、セーラーの連携を深めるイベント等の検討を行い、その実施に協力した。
- 7月10日の神輿が海に入る事で有名な江の島天王祭の海上支援（人員＋艇）を行った。